

木蓮の声なら判る気もすなり

藤田湘子

毎年、白木蓮が一齐に咲きだすと本当に春が来たと感じる。紫木蓮は、白木蓮より少し遅れて開花時期を迎えるが、「モクレン」と呼べば、この紫木蓮をさすようだ。中国原産で、かつては木蘭とも書かれていた。

地域にもよるだろうが、私の住む高知では三月の青空を背景に、天に向かって外は古代紫、内は乳白色の縦長の大きな花卉を広げる。

この句初出は、鷹二〇〇五年五・六月合併号。すなわち、湘子先生四月十五日ご逝去後の発行で、自身でどこまで推敲されたのか、その詳細は不明である。

当時の小川軽舟鷹編集長（現・主宰）が最後の句帖を預かり掲載した遺作二十一句の七番目に置かれていた。

2005年（h17作）第十一句集『てんてん』 鑑賞・轍郁摩